第 5 章　地域公共交通の利用実態・ニーズ

5-1　本章の着眼点とまとめ

本章では、各種調査から伊賀市の公共交通について、市民の利用状況やニーズを把握します。

表 5-1　地域公共交通の利用実態・ニーズのまとめ（1/2）

利用者アンケート調査	• 公共交通利用者でも、７割が自動車を保有しており、５割以上は日常的に運転している。 • 最も利用する交通手段は、市全体では鉄道が９割を占めたが、大山田地域や島ヶ原地域では、三重交通バスの利用が２割と他地域より割合が高い。 • 利用促進に向けて、市全体では「鉄道の運行本数の増便」が最も重視されており、阿山地域、大山田地域では「バス路線の新設や運行本数の増便」が最も重視されている。 • 市全体で８割が将来の利用意向を示しており、青山地域で特に高く、阿山地域では５割にとどまる。 • 関心のある新たな交通手段は、市全体では「デマンド運行」「自動運転」が高い割合となっており、島ヶ原地域では「住民参加型ライドシェア」が最も割合が高い。
市民アンケート調査	• 運転免許は、市全体で９割が保有している。 • 運転免許の「返納意向無し」は５割を超え、「返納予定」「将来的に検討」を上回った。 • 最寄駅またはバス停までの距離は、市全体では「500mを超え１㎞以内」の割合が最も高く、バス停の一般的な徒歩圏域の「300m以内」は５割未満にとどまる。 • １年間に公共交通を「１回も利用していない」割合が、「利用した」を上回る。特に大山田地域では、「利用した」が３割未満。 • 外出の目的地は、いずれの地域からも「上野地域」が最も多く、地域によっては、名張市、津市、県外といった広域的な移動ニーズも見られる。 • 外出目的は「通勤」が５割、「買い物」が３割を占める。 • 外出時の利用交通手段は「自家用車」が特に高い割合である。青山地域では、「鉄道（近鉄）」が、島ヶ原地域では「鉄道（JR 関西本線）」「バス（三重交通）」の利用割合が他地域より高い。 • 市全体で７割が将来の利用意向を示している。 • 利用促進に向けては、市全体では「バス路線の新設や運行本数の増便」が最も重視されており、大山田地域では「学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助」、島ヶ原地域では「地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実」の割合も高い。 • 公共交通の改善に向けたサービスについては、「安価で移動できる地域主体の交通手段」と「自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー」への関心が高い。

表 5-2　地域公共交通の利用実態・ニーズのまとめ（2/2）

高校生アンケート調査	• 通学の交通手段は、市全体で「家族等による送迎」の割合が最も高く、青山地域や島ヶ原地域では「鉄道」も多く利用されており、大山田地域では「バス（三重交通）」の割合も他地域より高い。 • 休日の外出の目的地は、伊賀市内からはいずれの地域からも「上野地域」が最も多く、地域によっては、名張市、県外といった広域的な移動ニーズも見られる。 • 休日の外出時の移動手段は、いずれの地域でも「家族等による送迎」の割合が最も高く、地域により鉄道やバスも利用されている。 • 利用促進に向けて、市全体では「バス路線の新設や運行本数の増便」が最も重視されており、青山地域、大山田地域では「学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助」の割合も高い。 • 公共交通の改善に向けたサービスとして、伊賀市全体では「安価で移動できる地域主体の交通手段」「鉄道や路線バスの定期券購入補助制度」のニーズが高い。

5-2　公共交通利用者アンケート調査

(1) 調査概要

公共交通利用者の利用実態やニーズを把握するために利用者を対象にアンケート調査を実施しました。

表 5-3　公共交通利用者アンケート調査概要

<table>
<tr><td>目的</td><td>日頃から公共交通を利用している利用者の利用実態や意向を把握する。</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>伊賀市内の公共交通利用者
※市外からの来訪客も含む</td></tr>
<tr><td>方法</td><td>【聞き取り調査および WEB・ハガキ併用形式】
・市内３か所に調査員を各２名ずつ配置し、現地での聞き取り調査、もしくは WEB アンケートの QR コードを掲載したチラシを配布した
・聞き取り以外の回答は web またはハガキでの回収とした</td></tr>
<tr><td>調査箇所</td><td>伊賀神戸駅、伊賀上野駅、上野市駅</td></tr>
<tr><td>期間</td><td>配布日：令和７年 10 月 23 日（木）・10 月 26 日（日）
回収期限：～令和７年 11 月 14 日（金）</td></tr>
<tr><td>回収数</td><td>377 票
<table>
<tr><th>地域</th><th>票数（票）</th><th>割合（%）</th></tr>
<tr><td>上野地域</td><td>136</td><td>36.1</td></tr>
<tr><td>いがまち地域</td><td>45</td><td>11.9</td></tr>
<tr><td>阿山地域</td><td>5</td><td>1.3</td></tr>
<tr><td>大山田地域</td><td>6</td><td>1.6</td></tr>
<tr><td>島ヶ原地域</td><td>12</td><td>3.2</td></tr>
<tr><td>青山地域</td><td>14</td><td>3.7</td></tr>
<tr><td>三重県内（伊賀市外）</td><td>58</td><td>15.4</td></tr>
<tr><td>三重県外</td><td>100</td><td>26.5</td></tr>
<tr><td>無回答</td><td>1</td><td>0.3</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>調査内容</td><td>●属性（お住まい、年齢、自動車保有状況等）
●調査日の移動について
●普段の公共交通利用状況
●公共交通の利用促進に対する考え方
●今後の公共交通の利用についての考え</td></tr>
</table>

(2) 調査結果

1) 個人属性

① 回答者の性別・年齢・職業

- 回答者は、男性がやや多く、年齢は 50 代が最も多いですが、10 代から高齢者まで幅広い年齢の回答を得ています。
- 職業は会社員・公務員が約半数を占めています。

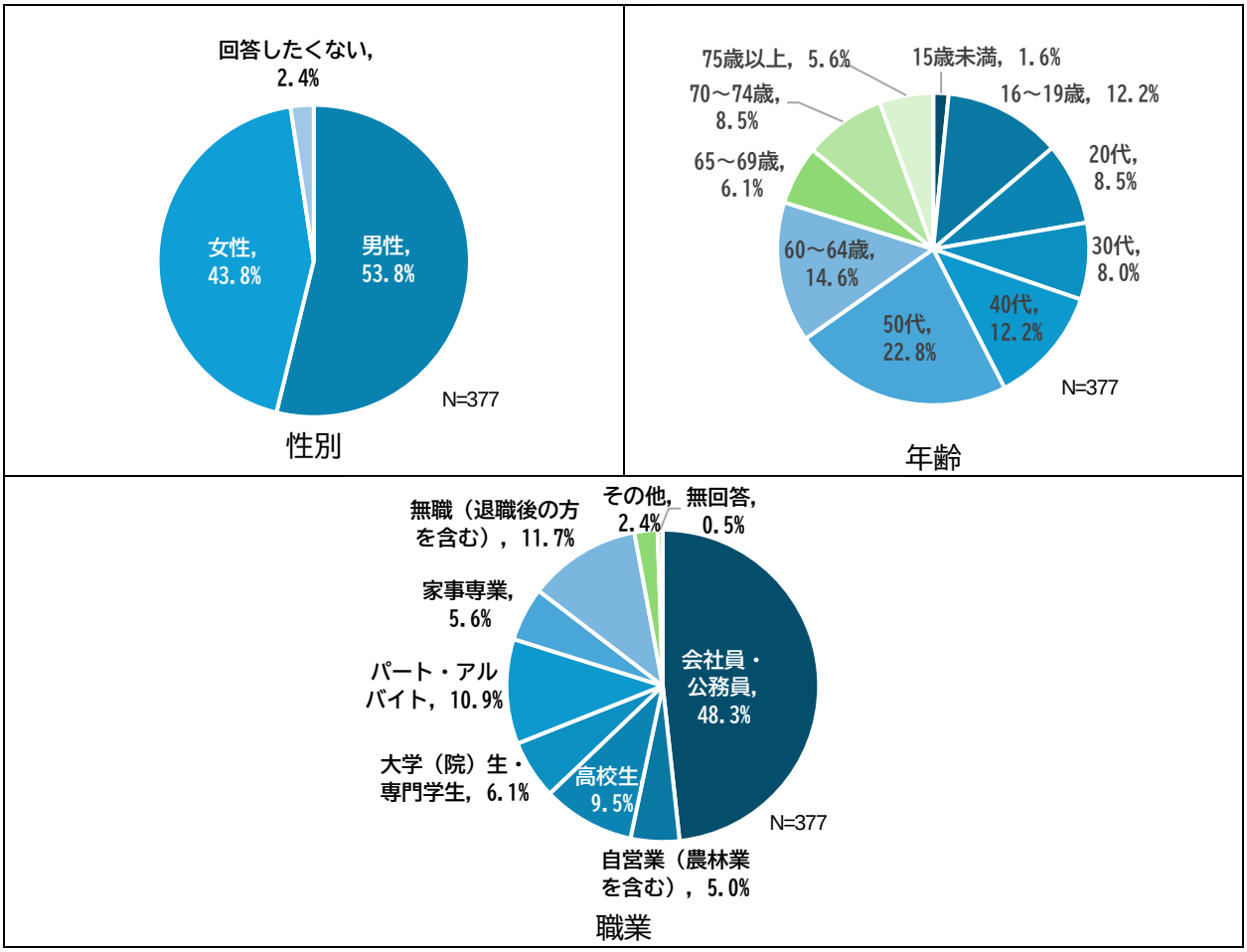


図 5-1 個人属性

② 自動車の保有状況・運転状況

- 自分専用もしくは家族共用の自動車を持つ割合は、７割を占めています。
- 日常的に運転している割合が５割以上を占めています。

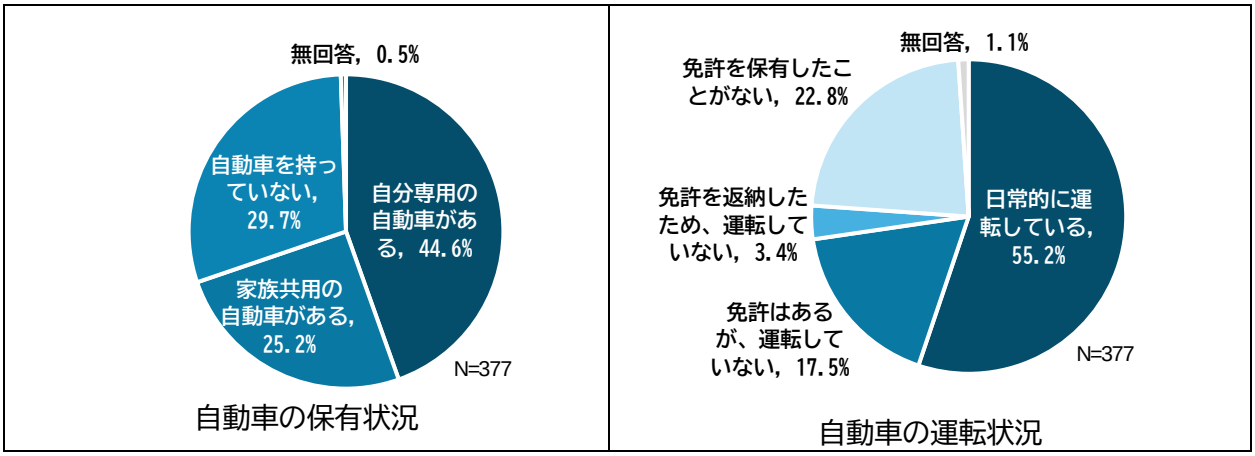


図 5-2 自動車の保有状況・運転状況

2） 普段最も利用する交通手段

- 市全体では「鉄道」が９割を占め、特に「鉄道（近鉄）」が５割を超えます。青山地域では「鉄道（近鉄）」が９割を超えます。
- バスの利用は、市全体では１割未満ですが、大山田地域と島ヶ原地域では、２割と他地域より高い割合です。
- 阿山地域は「鉄道（伊賀鉄道）」が６割と他地域と比較して割合が高く、島ヶ原地域では「鉄道（JR 関西本線）」が４割と他地域よりも高い割合となっています。

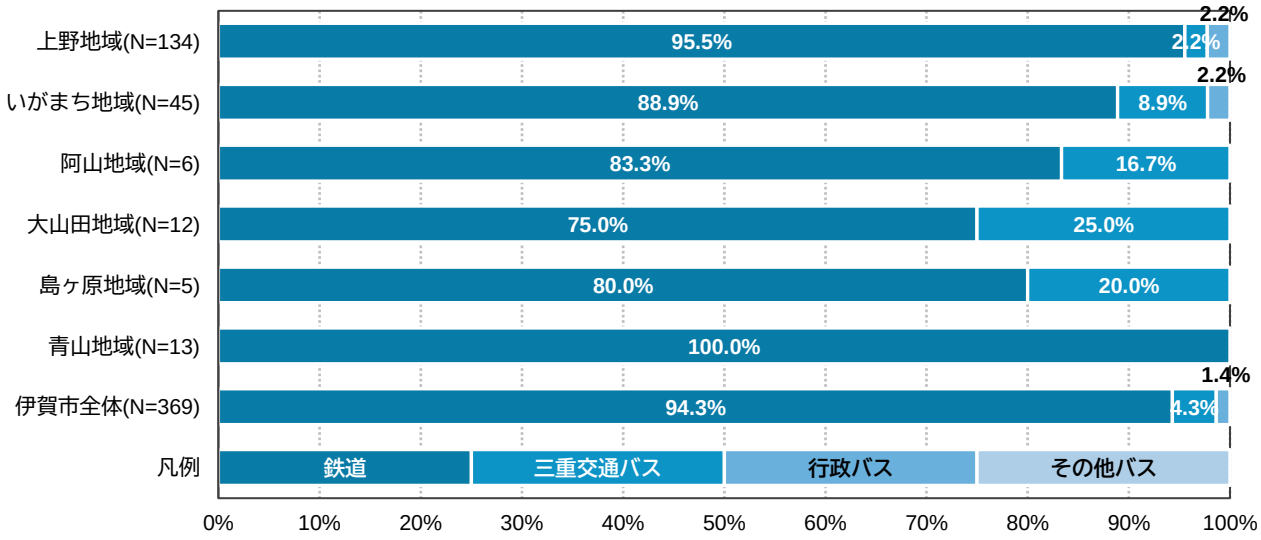


図 5-3 普段最も利用する交通手段

表 5-4 普段最も利用する交通手段（内訳）

	上野地区(N=136)	いがまち地区(N=45)	島ヶ原地区(N=5)	阿山地区(N=6)	大山田地区(N=12)	青山地区(N=13)	回答全体(N=377)
鉄道（近鉄）	47.8%	60.0%	20.0%	16.7%	50.0%	92.3%	56.6%
鉄道（JR草津線）	1.5%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
鉄道（JR関西本線）	17.9%	4.4%	40.0%	0.0%	25.0%	7.7%	15.4%
鉄道（伊賀鉄道）	28.4%	20.0%	20.0%	66.7%	0.0%	0.0%	19.8%
上野・名張線（三重交通バス）	0.0%	4.4%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	2.4%
桐ヶ丘線（三重交通バス）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
阿波線（三重交通バス）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.3%
玉滝線（三重交通バス）	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
柘植線（三重交通バス）	0.7%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
月瀬線（三重交通バス）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
諏訪・予野線（三重交通バス）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西山・島ヶ原線（三重交通バス）	0.7%	2.2%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
友生線（三重交通バス）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
大山田行政サービス巡回車	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いがまち行政サービス巡回車	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
阿山行政サービス巡回車	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島ヶ原ぐるり号	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青山行政バス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
にんまるバス	1.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
地域運行バス（かんべ北斗号）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他バス（はたっこ号）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
比自岐コスモス号	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
山添村村民バス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

3） 公共交通の利用促進に向けて重視すべき点

- 市全体では、「鉄道の運行本数の増便」が 54.7%で最も重視されています。
- 阿山地域、大山田地域では、「バス路線の新設や運行本数の増便」が最も重視されています。
- 阿山地域の「新たな決済システムの導入」、青山地域の「先進技術の導入」などは他地域と比較し高い割合を示しています。

表 5-5 公共交通の利用促進に向けて重視すべき点

	上野地区（n=136）	いが地区（n=45）	島ヶ原地区（n=5）	阿山地区（n=6）	大山田地区（n=12）	青山地区（n=13）	回答全体（n=375）
バス路線の新設や運行本数の増便	21.3%	37.8%	40.0%	66.7%	58.3%	23.1%	25.3%
鉄道の運行本数の増便	56.6%	53.3%	40.0%	33.3%	41.7%	53.8%	54.7%
路線・時刻表などの分かりやすい情報発信・ダイヤ設定	19.1%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	18.4%
乗り継ぎしやすいバスの路線・ダイヤ設定	37.5%	26.7%	40.0%	33.3%	41.7%	7.7%	34.7%
既存のバスルートの見直し	9.6%	2.2%	20.0%	0.0%	8.3%	0.0%	5.9%
新たな決済システムの導入 （QRコード、クレジットカードのタッチ決済など）	8.1%	6.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.4%
駅・バス停のバリアフリー化	6.6%	4.4%	0.0%	16.7%	0.0%	23.1%	6.4%
学生を対象とした運賃の無料化や補助	14.7%	24.4%	40.0%	33.3%	41.7%	15.4%	12.5%
高齢者を対象とした運賃の無料化や補助	11.0%	15.6%	20.0%	0.0%	8.3%	30.8%	11.5%
自家用車を活用したライドシェアの展開（地域の助け合い活動）	5.1%	2.2%	0.0%	16.7%	16.7%	7.7%	5.9%
先端技術の導入 （自動運転バスなど）	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	30.8%	5.3%
環境に配慮した車両への転換 （EVバス、水素バスなど）	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	1.6%
小型電動モビリティの促進 （電動キックボード、１～２人乗り程度の小型車両など）	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	1.3%
地元企業やNPOなど新たな交通事業者の参入促進	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	3.2%
乗務員の確保・人材育成	8.8%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	6.7%
地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実	19.1%	15.6%	20.0%	0.0%	16.7%	23.1%	16.0%
その他	4.4%	2.2%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	3.5%
特になし、わからない	7.4%	11.1%	20.0%	0.0%	0.0%	7.7%	9.3%

4） 今後の公共交通利用について

- 「現在利用しているし、今後も利用し続けたいと思う」「現在、利用しているが、将来はもっと利用するようになると思う」と考える割合は、市全体で約８割を占めます。
- 特に青山地域では９割と今後の利用意向が高い一方、阿山地域では将来の利用意向が５割にとどまります。

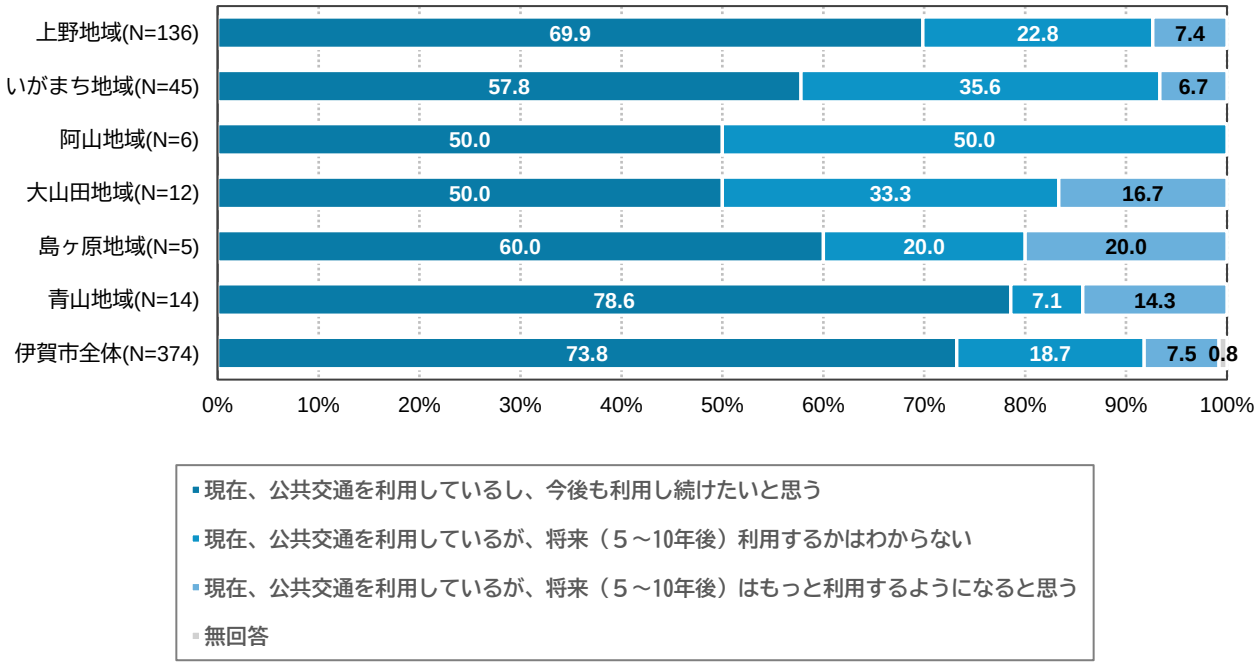


図 5-4　公共交通の利用意向

5） 関心のある新たな交通手段

- 市全体では「わからない」を除いては「デマンド運行」と「自動運転」が２割で最も高い割合となりました。
- 島ヶ原地域では「地域主体の住民参加型ライドシェア」が４割を占めます。

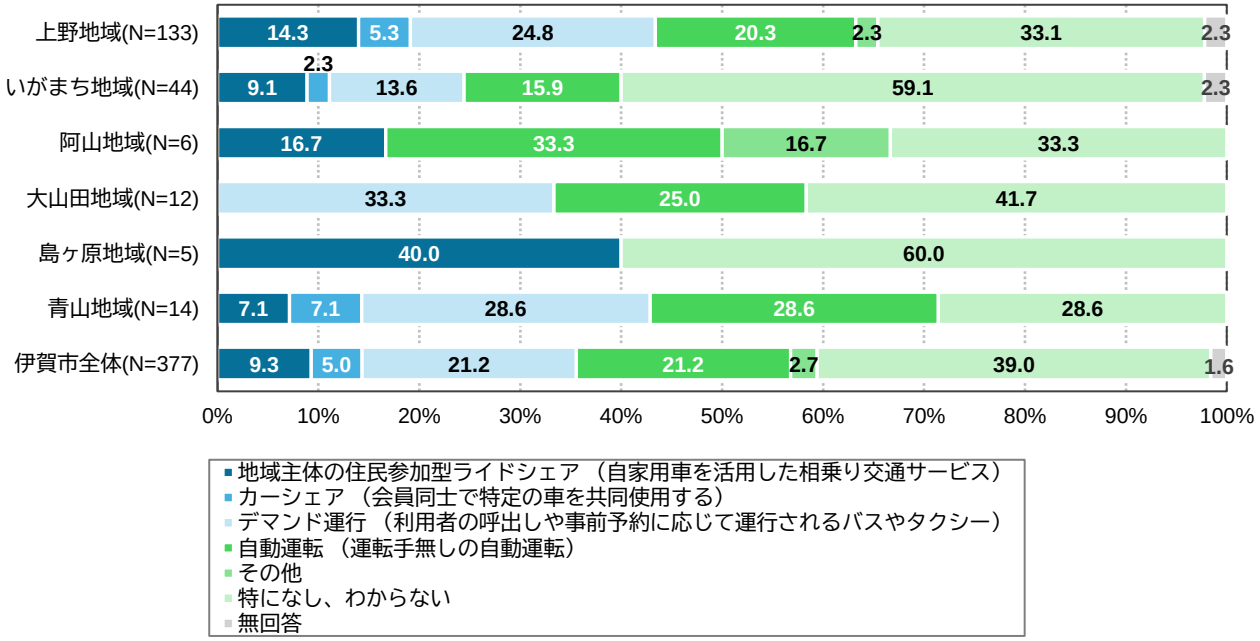


図 5-5　関心のある新たな交通手段

5-3　市民アンケート調査

(1) 調査概要

市民の公共交通利用実態や、意向を把握するために市民アンケート調査を実施しました。

表 5-6　市民アンケート調査概要

<table>
<tr><td>目的</td><td>市民の移動実態およびニーズの変化と既存公共交通サービスとのギャップを把握する。</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>伊賀市内の住民計 5,000 世帯
※対象世帯は住民基本台帳からの無作為抽出</td></tr>
<tr><td>方法</td><td>【WEB アンケート形式】
・WEB アンケートの QR コードを記載したハガキを郵送配布した
・別途、市の HP や e モニターも活用</td></tr>
<tr><td>期間</td><td>令和７年９月 16 日（火）～令和７年９月 30 日（火）</td></tr>
<tr><td>回収数</td><td>798 票
<table>
<tr><th>地域</th><th>票数（票）</th><th>割合（%）</th></tr>
<tr><td>上野地域</td><td>410</td><td>51.4</td></tr>
<tr><td>いがまち地域</td><td>187</td><td>23.4</td></tr>
<tr><td>阿山地域</td><td>63</td><td>7.9</td></tr>
<tr><td>大山田地域</td><td>40</td><td>5.0</td></tr>
<tr><td>島ヶ原地域</td><td>29</td><td>3.6</td></tr>
<tr><td>青山地域</td><td>68</td><td>8.5</td></tr>
<tr><td>無回答</td><td>1</td><td>0.1</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>調査内容</td><td>●属性（お住まい、年齢、家族構成等）
●運転免許保有状況、自動車運転状況
●自宅とバス停間の距離・交通手段
●公共交通の利用状況
●外出の状況
●公共交通を利用しない理由
●今後の公共交通の利用意向
●公共交通に対する改善要望
●公共交通の利用促進に関する考え</td></tr>
</table>

（2） 調査結果

1） 個人属性

① 回答者の性別・年齢・世帯構成・職業

- 回答者は、「男性」が多く、年代は「50 歳台」が 23.1%と最も多く、65 歳以上の高齢者については、約 37%でした。
- 職業は「会社員・公務員」が約半数を占めています。
- 世帯構成は「２世代世帯（子と同居）」が 32.0%と最も多くなっています。

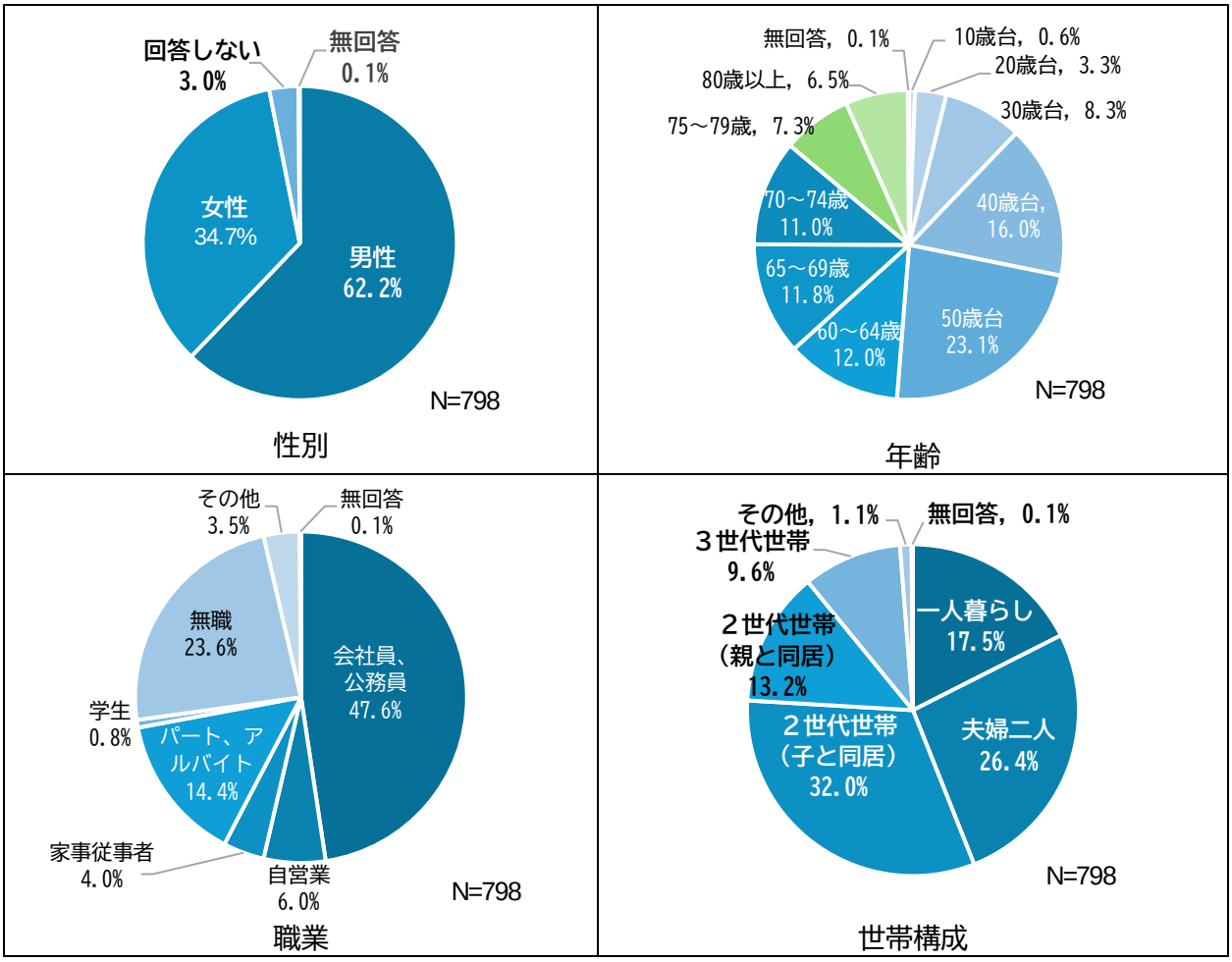
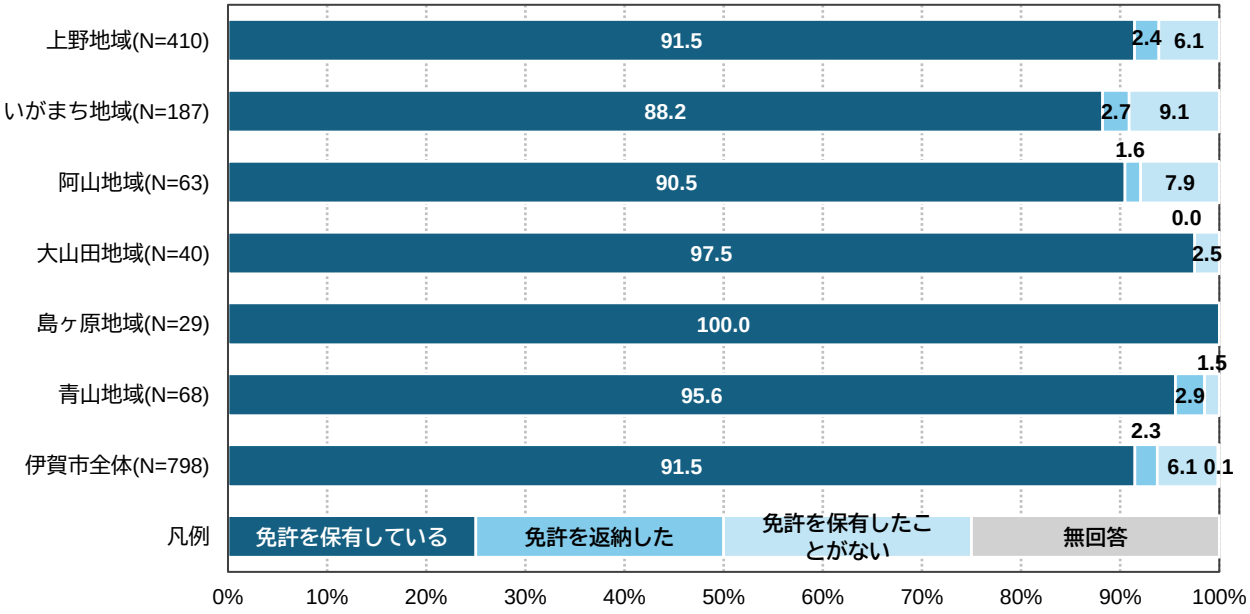


図 5-6　個人属性

② 回答者の運転免許保有状況

- 伊賀市全体では９割以上、島ヶ原地域では、全回答者が「免許を保有している」と回答しています。一方、免許返納者は 2.3%にとどまっています。
- 返納の意向については、伊賀市全体で「返納意向なし」が 53.7%を占めています。



※保有免許種別を回答した人を「免許を保有している」とした

図 5-7 免許の保有状況

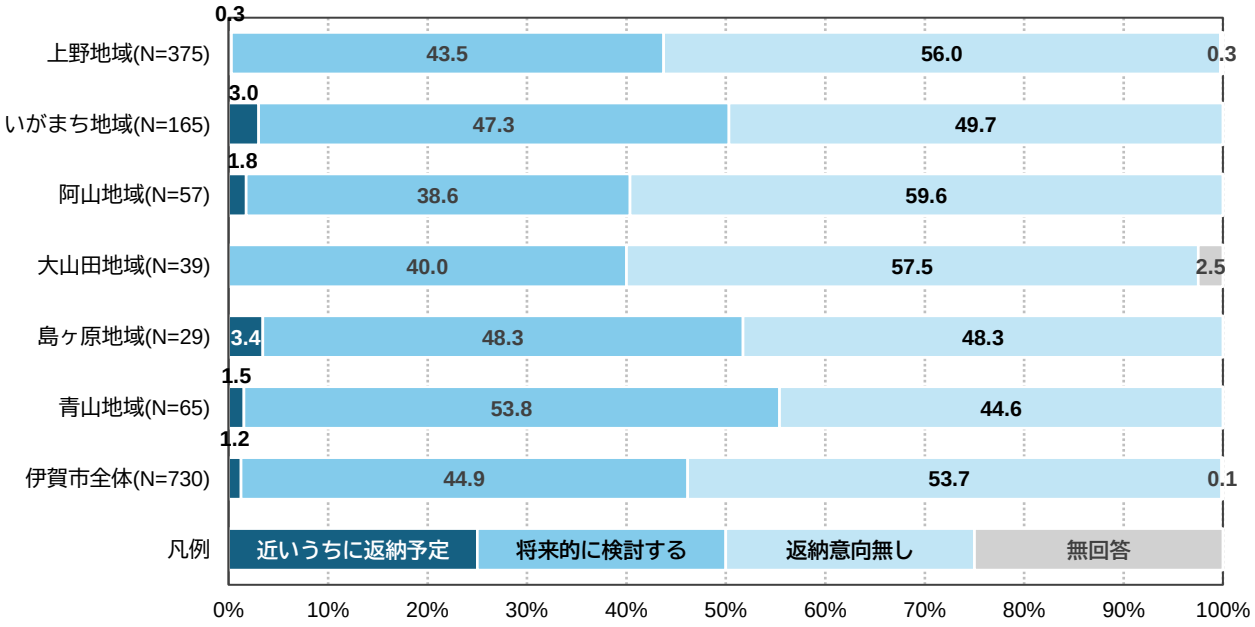


図 5-8 免許の返納意向

2） 公共交通利用状況

① 自宅から最寄駅またはバス停までの距離

- 伊賀市全体では、「500mを超え１㎞以内」が 22.2%で最も割合が高くなっています。
- 地域別では、青山地域では 300m以内の割合が、約 57%と比較的距離が短い傾向にあります。
- 一方で、島ヶ原地域は「１㎞以上」が 40%を占めています。

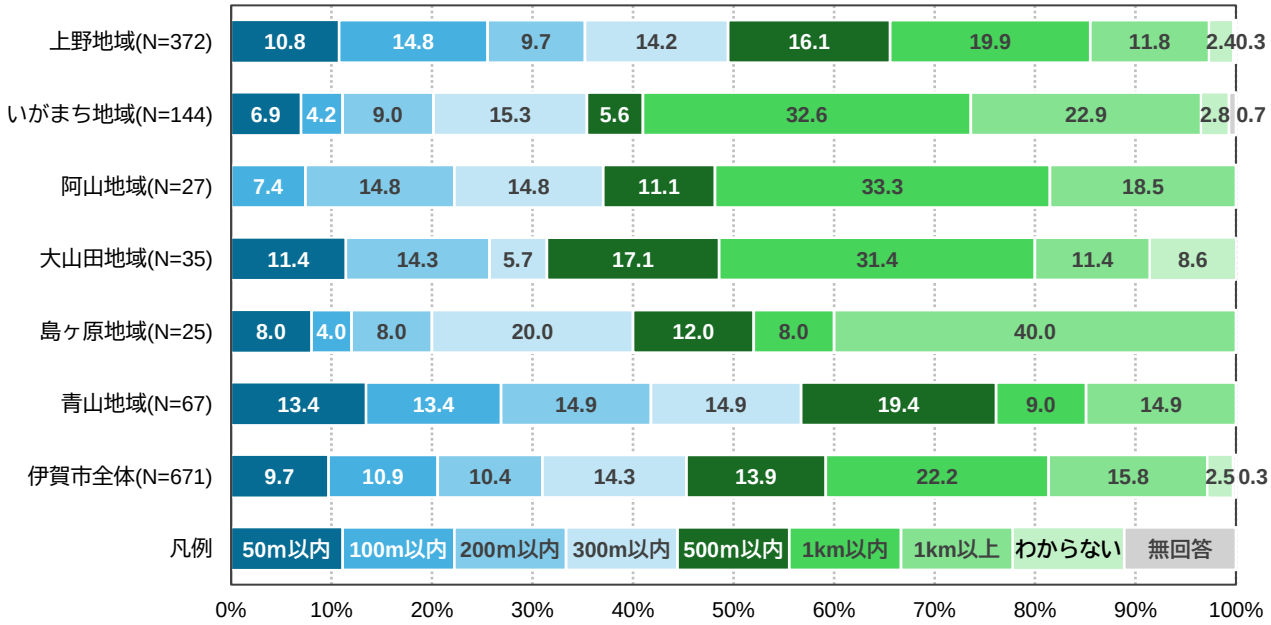


図 5-9 自宅から最寄の駅またはバス停までの距離

② この１年間の公共交通利用状況

- 伊賀市全体では、「１回も利用していない」が「利用した」を上回っています。
- 青山地域は利用率が５割以上と比較的高いですが、大山田地域は「利用した」が 27.5%にとどまります。

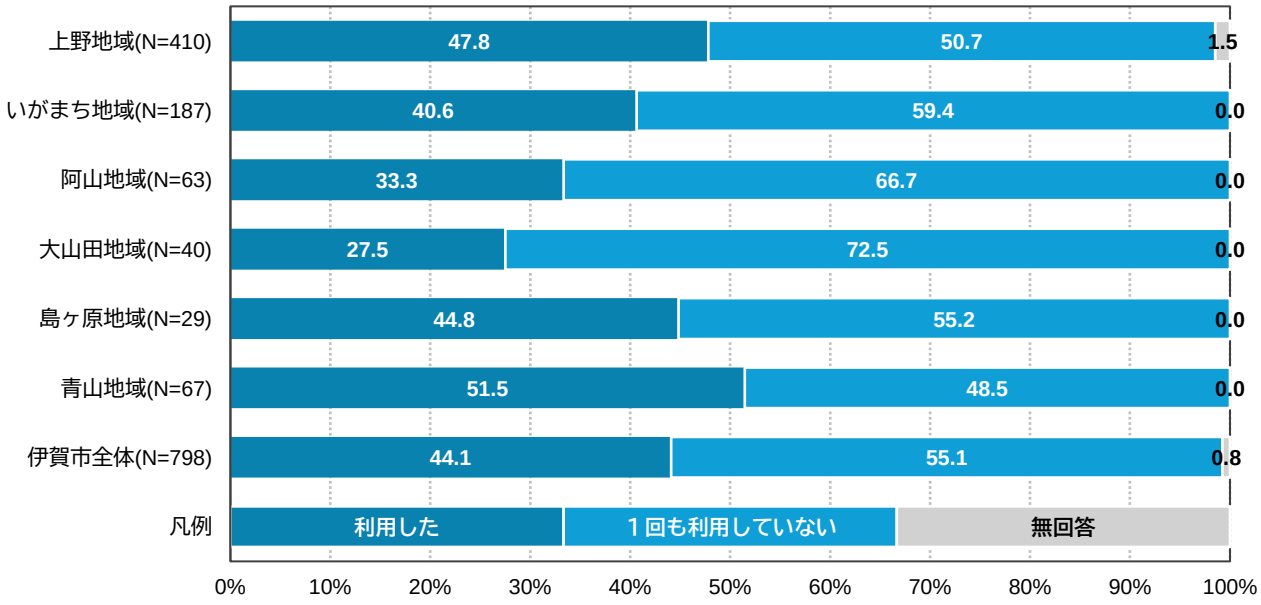


図 5-10 １年間の公共交通利用の有無

③　よくおでかけする目的地

- おでかけの目的地はいずれの地域も、上野地域が最も多くなっています。
- 青山地域では、名張市や津市へのおでかけも目立ちます。
- また県外という回答も一定数おり、広域的な移動ニーズがあることがわかります。

表 5-7 おでかけの目的地

（単位：%）

目的地＼居住地	上野地域 (N=410)	いがまち地域 (N=186)	阿山地域 (N=63)	大山田地域 (N=40)	島ヶ原地域 (N=29)	青山地域 (N=68)	伊賀市全体 (N=797)
伊賀市上野地域（旧上野市）	65.6	50.0	38.1	60.0	51.7	29.4	56.0
伊賀市いがまち地域（旧伊賀町）	4.4	17.7	6.3	0.0	0.0	1.5	7.0
伊賀市島ヶ原地域（旧島ヶ原村）	0.0	2.2	3.2	2.5	10.3	0.0	1.3
伊賀市阿山地域（旧阿山町）	2.4	1.1	15.9	2.5	3.4	0.0	3.0
伊賀市大山田地域（旧大山田村）	2.4	1.1	0.0	17.5	6.9	0.0	2.6
伊賀市青山地域（旧青山町）	1.0	1.1	0.0	0.0	3.4	17.6	2.4
名張市	5.4	7.5	7.9	2.5	6.9	23.5	7.5
亀山市	1.2	1.6	0.0	2.5	0.0	0.0	1.1
津市	3.4	1.6	1.6	0.0	3.4	13.2	3.5
滋賀県甲賀市	0.7	2.7	14.3	2.5	0.0	0.0	2.3
京都府南山城村	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.1
京都府笠置町	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
奈良県山添村	0.2	1.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.5
市外	0.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.9
県外	12.2	9.7	9.5	7.5	13.8	14.7	11.4
無回答	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3

④　おでかけの目的

- 市全体では「通勤」が 53.0%を占めます。次いで、「買い物」が 27.9%となっています。
- 「通勤」の割合は、上野地域と大山田地域が比較的高く、阿山地域では、「通院」が 15.9%と他地域より高い割合を占めます。

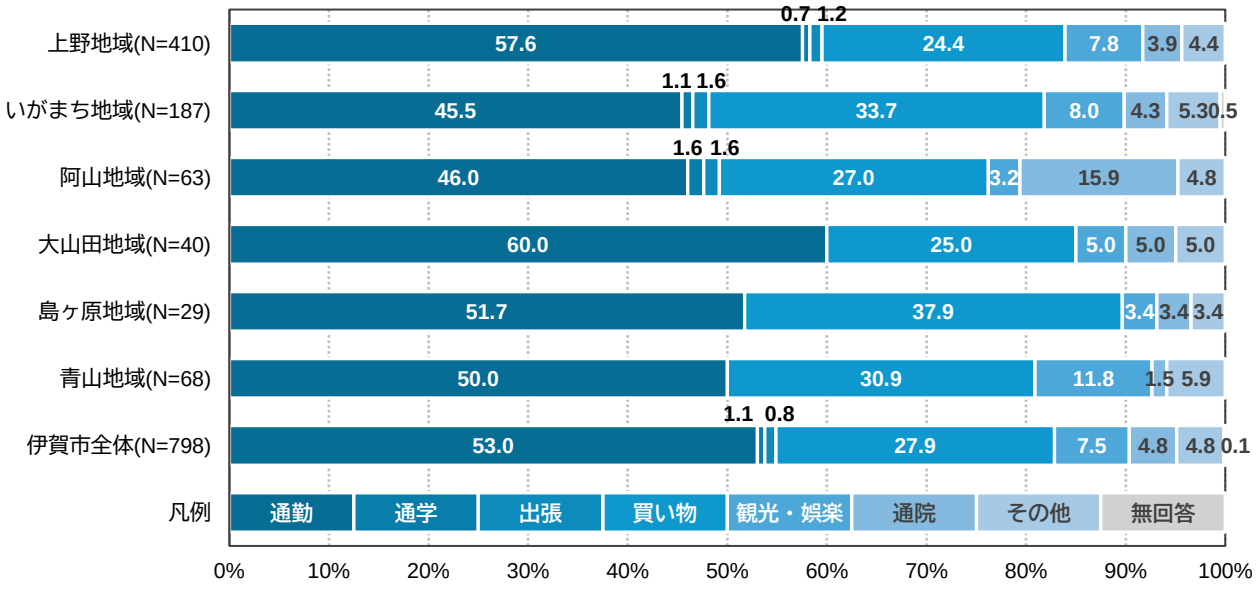


図 5-11　おでかけの目的

⑤　おでかけ時の利用交通手段

- いずれの地域でも、「自動車（自分で運転）」が７～８割と高い割合を占めています。
- 青山地域では比較的「鉄道（近鉄）」の利用割合が高く、島ヶ原地域では「鉄道（JR 関西本線）」及び「バス（三重交通）」の利用割合が他地域よりも高くなっています。

表 5-8 おでかけ時の利用交通手段

（単位：%）

交通手段＼居住	上野地域 (N=410)	いがまち地域 (N=186)	阿山地域 (N=63)	大山田地域 (N=40)	島ヶ原地域 (N=29)	青山地域 (N=68)	伊賀市全体 (N=797)
鉄道（近鉄）	13.4	10.8	0.0	5.0	6.9	29.4	12.4
鉄道（JR草津線）	2.4	7.5	3.2	2.5	0.0	0.0	3.4
鉄道（JR関西本線）	7.1	14.5	7.9	7.5	20.7	0.0	8.8
鉄道（伊賀鉄道）	11.0	8.6	4.8	0.0	0.0	4.4	8.4
バス（三重交通）	4.6	6.5	6.3	7.5	17.2	8.8	6.1
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.2	0.5	3.2	0.0	3.4	0.0	0.6
青山行政バス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	0.4
にんまるバス	2.4	2.2	3.2	0.0	0.0	0.0	2.0
地域運行バス（かんべ北斗号）・その他バス（はたっこ号）・山添村村民バス	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
家族等による送迎	11.7	7.5	11.1	7.5	17.2	5.9	10.3
企業の送迎バス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物バス（スーパー・社協など）	0.2	2.7	0.0	2.5	0.0	0.0	0.9
病院の送迎バス（診療所、デイサービスなど）	1.5	1.1	1.6	0.0	3.4	0.0	1.3
自動車（自分で運転）	78.8	73.1	79.4	87.5	82.8	77.9	77.9
タクシー	2.2	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6
介護タクシー（福祉有償運送）	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
原付・バイク	2.7	0.5	0.0	5.0	3.4	1.5	2.0
自転車	4.9	6.5	3.2	7.5	0.0	1.5	4.8
徒歩	7.8	9.1	3.2	2.5	6.9	1.5	6.9
その他	0.7	0.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.6

3） 今後の公共交通利用について

- 「現在利用しているし、今後も利用し続けたいと思う」「今は利用していないが、将来は利用すると思う」と考える割合は、市全体で約７割を占めます。
- 特に青山地域では、約９割が将来の利用意向を持っています。

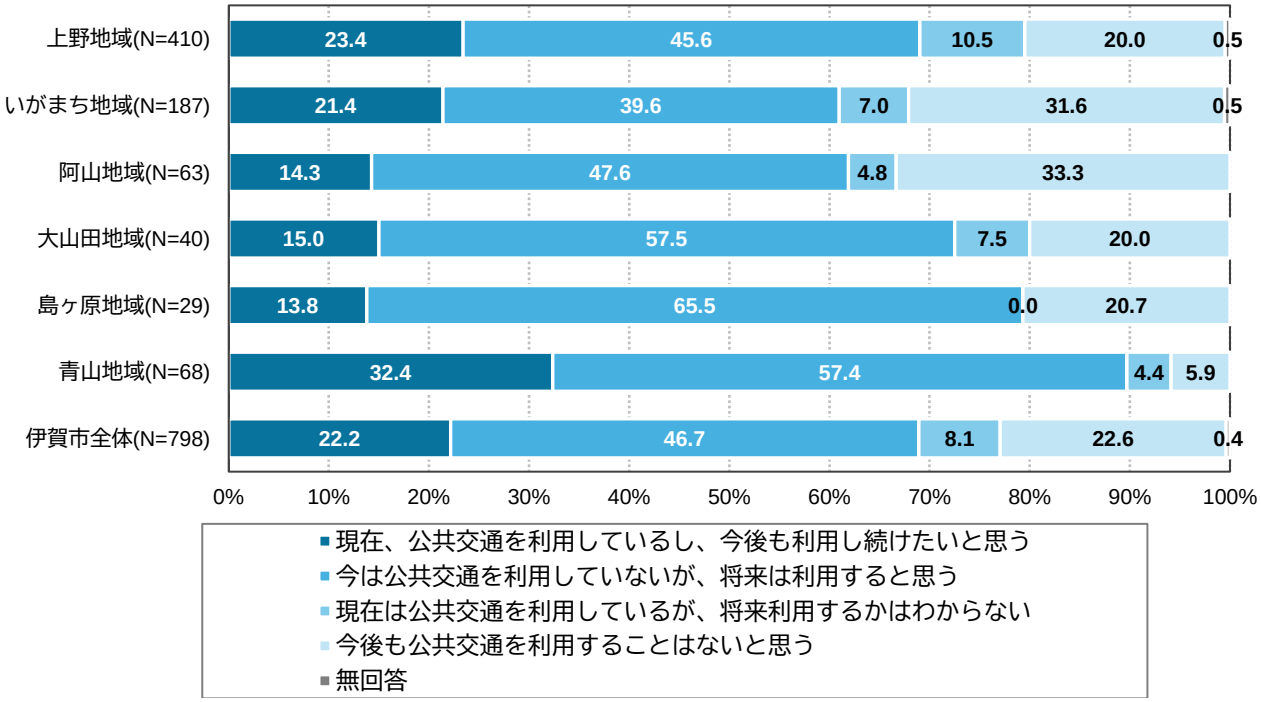


図 5-12　公共交通の利用意向

4） 公共交通の利用促進に向けて重視すべき点

- 市全体では、「バス路線の新設や運行本数の増便」が 42.4%で最も重視されています。
- 大山田地域では、「学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助」、島ヶ原地域では「地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実」についても５割を超え、他地域よりも重要度が高いと認識されています。

表 5-9 公共交通の利用促進に向けて重視すべき点

（単位：%）

重視すべき点＼居住地	上野地域 (N=410)	いがまち地域 (N=187)	阿山地域 (N=63)	大山田地域 (N=40)	島ヶ原地域 (N=29)	青山地域 (N=68)	伊賀市全体 (N=795)
バス路線の新設や運行本数の増便	40.0	45.5	39.7	50.0	51.7	41.2	42.4
利用状況に応じたバス路線の統廃合や運行本数の増便又は減便（集中と選択）	27.1	15.0	23.8	27.5	13.8	17.6	22.8
鉄道の運行本数の増便	28.3	30.5	36.5	20.0	44.8	20.6	29.1
新たな決済システムの導入（QRコード、クレジットカードのタッチ決済など）	12.9	8.0	4.8	2.5	3.4	13.2	10.3
駅・バス停のバリアフリー化	6.6	18.2	6.3	12.5	3.4	13.2	10.1
学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助	34.1	35.3	31.7	52.5	24.1	38.2	35.2
自家用車を活用したライドシェアの展開（地域の人同士が車を乗り合い、みんなで移動を助け合う仕組み）	13.4	17.1	22.2	20.0	27.6	23.5	16.7
先端技術の導入（自動運転バスなど）	11.7	12.3	11.1	15.0	17.2	7.4	11.8
環境に配慮した車両への転換（EVバス、水素バスなど）	2.2	4.3	1.6	0.0	6.9	1.5	2.6
小型電動モビリティの促進（電動キックボード、１～２人乗り程度の小型車両など）	4.6	6.4	1.6	5.0	0.0	5.9	4.8
新たな交通事業者の参入促進	7.3	7.5	12.7	5.0	13.8	1.5	7.4
乗務員の確保・人材育成	11.0	8.6	11.1	5.0	0.0	10.3	9.7
地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実	32.0	25.7	30.2	40.0	58.6	38.2	32.3
その他	4.9	6.4	7.9	5.0	3.4	2.9	5.3

5） 公共交通の改善に向けたサービスについて

● いずれの地域でも「安価で移動できる地域主体の交通手段」と「自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー」に関心がある割合が高くなっています。

表 5-10 公共交通の改善に向けたサービスで関心があるもの

（単位：%）

サービスの内容＼居住地	上野地域 (N=410)	いがまち地域 (N=186)	阿山地域 (N=63)	大山田地域 (N=40)	島ヶ原地域 (N=29)	青山地域 (N=68)	伊賀市全体 (N=797)
自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー	42.4	45.5	49.2	47.5	55.2	41.2	44.3
タクシーが一定の条件付きで割り引かれるサービス（時間帯限定・市内エリア限定等）	30.0	28.9	20.6	30.0	34.5	26.5	28.9
鉄道やバス（三重交通バス、行政バス等）の定期券購入補助制度	16.6	20.3	15.9	20.0	10.3	22.1	17.8
公共交通利用で買い物に行くと、店でポイントの付与や割引が受けられる	25.4	25.7	14.3	20.0	17.2	23.5	23.9
自家用車に乗せてくれる人にお金を払って相乗りする（地域での助け合い活動など）	17.3	14.4	25.4	25.0	34.5	19.1	18.5
会員同士で特定の車を共同使用する	6.6	5.9	3.2	7.5	3.4	2.9	5.8
運転手無しの自動運転	25.9	26.7	22.2	25.0	31.0	25.0	25.9
複数の公共交通（鉄道・バス・タクシー等）の検索、予約、決済を一括で行えるサービス	17.6	16.0	14.3	15.0	37.9	22.1	18.0
安価で移動できる地域主体の交通手段	54.6	48.7	47.6	45.0	72.4	55.9	53.0
その他	4.9	4.3	4.8	7.5	3.4	0.0	4.4

5-4　高校生アンケート調査

(1) 調査概要

伊賀市の高校生の利用実態・通学実態やニーズを把握するために高校生を対象にアンケート調査を実施しました。

表 5-11　高校生アンケート調査概要

<table>
<tr><td>目的</td><td>公共交通の利用が多い高校生の公共交通の利用実態や利用促進に向けた課題を把握する。</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>伊賀市内の高校に通う１、２年生</td></tr>
<tr><td>方法</td><td>【WEB アンケート形式】
・WEB アンケートの QR コードを記載した案内文を配布した</td></tr>
<tr><td>期間</td><td>令和７年９月 16 日（火）～令和７年 10 月７日（火）</td></tr>
<tr><td>回収数</td><td>208 票
<table>
<tr><th>地域</th><th>票数（票）</th><th>割合（%）</th></tr>
<tr><td>上野地域</td><td>21</td><td>10.1</td></tr>
<tr><td>いがまち地域</td><td>72</td><td>34.6</td></tr>
<tr><td>阿山地域</td><td>9</td><td>4.3</td></tr>
<tr><td>大山田地域</td><td>6</td><td>2.9</td></tr>
<tr><td>島ヶ原地域</td><td>3</td><td>1.4</td></tr>
<tr><td>青山地域</td><td>7</td><td>3.4</td></tr>
<tr><td>名張市</td><td>58</td><td>27.9</td></tr>
<tr><td>亀山市</td><td>28</td><td>13.5</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>4</td><td>1.9</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>調査内容</td><td>●属性（お住まい、学年、家族構成等）
●運転免許取得意向
●普段利用する移動手段
●自宅とバス停間の距離・交通手段
●公共交通の利用状況
●通学の状況
●通学以外の外出の状況
●公共交通を利用する理由・利用しない理由
●公共交通に対する改善要望
●公共交通の利用促進に関する考え</td></tr>
</table>

(2) 調査結果

1) 個人属性

- 回答者は女性が６割を占め、1 年生が過半数を占めています。家族構成は「２世代世帯（親と同居）」が 74.0%となっています。
- 運転免許の取得については、「18 歳になり次第なるべく早く取得する予定」とする回答者が約 7 割でした。

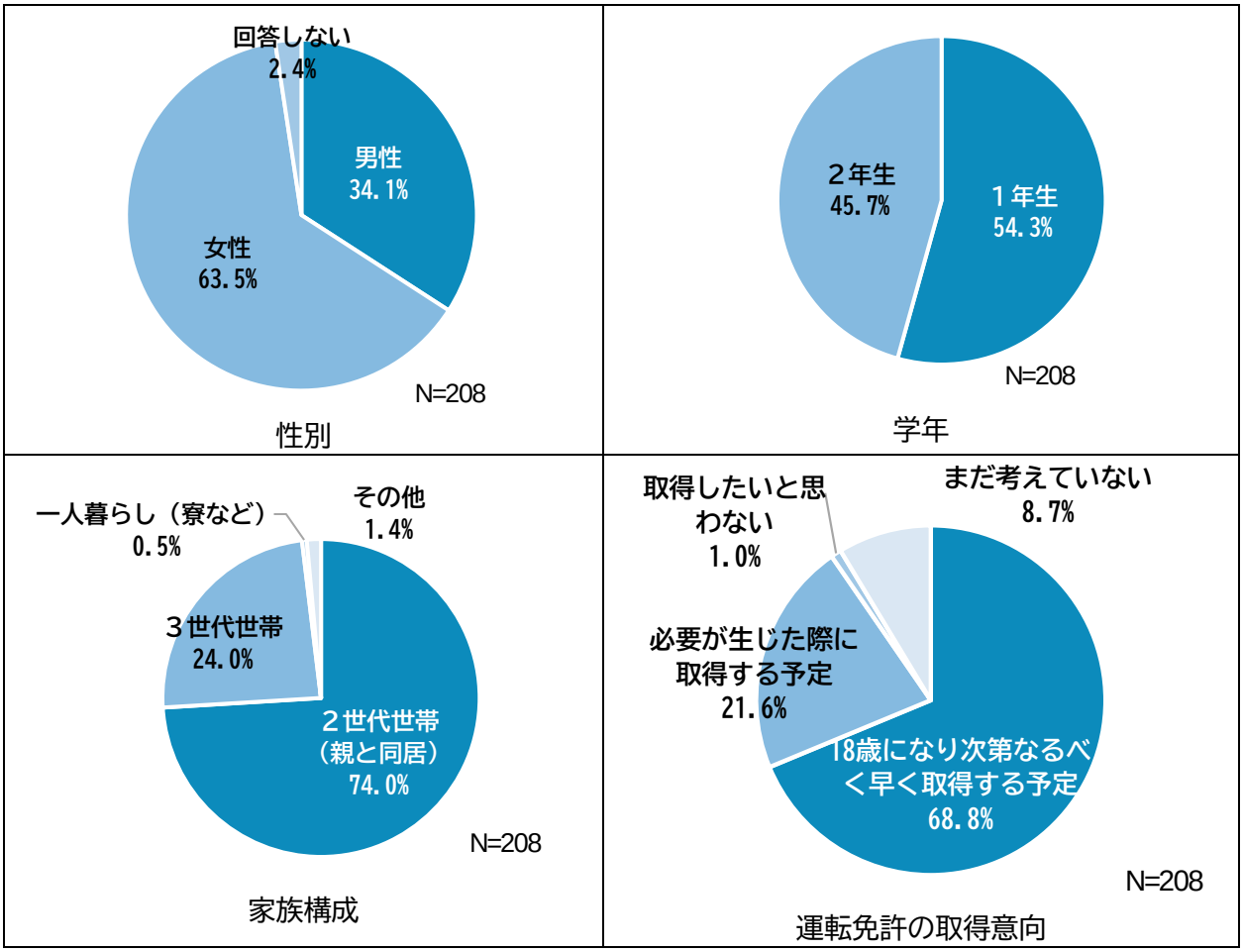


図 5-13　回答者の属性

2） 晴天時の通学の交通手段

- 通学の交通手段は伊賀市全体では、「家族等による送迎」の割合が最も高く、続いて「バス（三重交通）」となっています。
- 青山地域、島ヶ原地域、及び市外からの通学では、「鉄道」の割合も高くなっており、大山田地域、名張市では「バス（三重交通）」の利用割合が５割となっています。

表 5-12　晴天時の通学の交通手段

（単位：%）

交通手段＼居住地	上野地域 (N=21)	いがまち地域 (N=72)	阿山地域 (N=9)	大山田地域 (N=6)	島ヶ原地域 (N=3)	青山地域 (N=7)	名張市 (N=58)	亀山市 (N=28)	伊賀市全体 (N=208)
鉄道（近鉄）	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	85.7	39.7	0.0	16.3
鉄道（JR草津線）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.5
鉄道（JR関西本線）	4.8	18.1	11.1	0.0	100.0	0.0	0.0	92.9	23.1
鉄道（伊賀鉄道）	0.0	20.8	11.1	0.0	33.3	85.7	37.9	7.1	23.1
バス（三重交通）	23.8	34.7	0.0	50.0	0.0	28.6	50.0	3.6	31.7
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青山行政バス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
にんまるバス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域運行バス（かんべ北斗号） その他バス（はたっこ号）・山添村村民バス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
スクールバス	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	14.3	39.7	0.0	12.0
家族等による送迎	42.9	43.1	77.8	33.3	33.3	57.1	27.6	39.3	40.4
タクシー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原付	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.5
自転車	23.8	29.2	22.2	33.3	0.0	14.3	5.2	25.0	20.2
徒歩	42.9	25.0	0.0	0.0	33.3	28.6	32.8	25.0	27.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3） 休日の外出について

① 休日の外出の目的地

- 休日の外出の目的地は伊賀市内の方は、上野地域が最も多くなっています。
- 青山地域からは名張市、阿山地域からは県外など広域移動も一定数みられます。

表 5-13 休日の外出の目的地

（単位：%）

目的地＼居住地	上野地域 (N=21)	いがまち地域 (N=72)	阿山地域 (N=9)	大山田地域 (N=6)	島ヶ原地域 (N=3)	青山地域 (N=7)	名張市 (N=58)	亀山市 (N=28)	伊賀市全体 (N=208)
伊賀市上野地域（旧上野市）	81.0	62.5	44.4	66.7	100.0	57.1	22.4	7.1	44.7
伊賀市いがまち地域（旧伊賀町）	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	7.1	6.3
伊賀市島ヶ原地域（旧島ヶ原村）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伊賀市阿山地域（旧阿山町）	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.0
伊賀市大山田地域（旧大山田村）	0.0	1.4	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4
伊賀市青山地域（旧青山町）	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
名張市	9.5	5.6	0.0	0.0	0.0	42.9	60.3	0.0	21.2
亀山市	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	7.2
津市	4.8	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	6.7
滋賀県甲賀市	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
京都府南山城村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
京都府笠置町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
奈良県山添村	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.0
市外	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	7.1	2.9
県外	0.0	4.2	33.3	0.0	0.0	0.0	8.6	3.6	5.8

② 休日の外出時の移動手段

- 休日の外出時に利用する交通手段はいずれの地域でも、「家族等による送迎」の割合が高くなっています。
- 青山地域では、「鉄道（近鉄・伊賀鉄道）」や「バス（三重交通）」の利用率が他地域と比較し高く、島ヶ原地域では「鉄道（JR 関西本線）」の利用割合が高くなっています。
- 上野地域やいがまち地域では、鉄道各路線および「バス（三重交通）」など様々な公共交通が選択されています。

表 5-14 休日の外出時の移動手段

（単位：%）

交通手段＼居住地	上野地域 (N=21)	いがまち地域 (N=72)	阿山地域 (N=9)	大山田地域 (N=6)	島ヶ原地域 (N=3)	青山地域 (N=7)	名張市 (N=58)	亀山市 (N=28)	伊賀市全体 (N=208)
鉄道（近鉄）	14.3	13.9	0.0	16.7	0.0	71.4	32.8	0.0	18.3
鉄道（JR草津線）	4.8	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.8
鉄道（JR関西本線）	14.3	16.7	11.1	0.0	66.7	0.0	1.7	28.6	13.5
鉄道（伊賀鉄道）	14.3	18.1	11.1	0.0	33.3	42.9	22.4	0.0	16.8
バス（三重交通）	9.5	12.5	0.0	16.7	0.0	28.6	39.7	3.6	18.8
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青山行政バス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
にんまるバス	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
地域運行バス（かんべ北斗号） その他バス（はたっこ号・山添村村民バス）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族等による送迎	47.6	63.9	77.8	66.7	100.0	71.4	50.0	53.6	58.7
タクシー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	1.0
原付	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.6	1.0
自転車	23.8	25.0	11.1	0.0	0.0	0.0	6.9	21.4	16.8
徒歩	33.3	12.5	0.0	0.0	0.0	28.6	34.5	14.3	20.2
その他	4.8	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.6	2.4

4） 公共交通利用促進に向けて重視すべき点

- 伊賀市全体では、「バス路線の新設や運行本数の増便」が 51%と最も高い割合で、続いて「鉄道運行本数の増便」が 45.7%と公共交通の増便ニーズが伺えます。
- 青山地域、大山田地域では「学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助」も５割を超える回答となっています。

表 5-15 公共交通利用促進に向けて重視すべき点

（単位：%）

重視する点＼居住地	上野地域 (N=21)	いがまち地域 (N=72)	阿山地域 (N=9)	大山田地域 (N=6)	島ヶ原地域 (N=3)	青山地域 (N=7)	名張市 (N=58)	亀山市 (N=28)	伊賀市全体 (N=208)
バス路線の新設や運行本数の増便	47.6	61.1	44.4	66.7	33.3	14.3	55.2	32.1	51.0
利用状況に応じたバス路線の統廃合や運行本数の増便又は減便（集中と選択）	4.8	18.1	11.1	0.0	33.3	0.0	17.2	3.6	13.0
鉄道の運行本数の増便	38.1	45.8	55.6	16.7	66.7	42.9	37.9	67.9	45.7
新たな決済システムの導入（QRコード、クレジットカードのタッチ決済など）	14.3	13.9	11.1	0.0	66.7	0.0	13.8	14.3	13.5
駅・バス停のバリアフリー化	14.3	6.9	11.1	16.7	0.0	14.3	13.8	35.7	14.9
学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助	33.3	45.8	44.4	50.0	33.3	57.1	34.5	46.4	42.3
自家用車を活用したライドシェアの展開（地域の人同士が車を乗り合い、みんなで移動を助け合う仕組み）	4.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	2.9
先端技術の導入（自動運転バスなど）	4.8	1.4	11.1	16.7	0.0	14.3	13.8	0.0	6.3
環境に配慮した車両への転換（EVバス、水素バスなど）	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	3.6	3.8
小型電動モビリティの促進（電動キックボード、１～２人乗り程度の小型車両など）	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	14.3	3.4	0.0	1.9
新たな交通事業者の参入促進	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.6	1.9
乗務員の確保・人材育成	14.3	6.9	11.1	0.0	0.0	14.3	10.3	3.6	8.7
地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実	4.8	11.1	22.2	0.0	0.0	14.3	6.9	0.0	8.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	3.4	0.0	1.4

5） 公共交通の改善に向けたサービスについて

- 伊賀市全体では、「安価で移動できる地域主体の交通手段」「鉄道や路線バスの定期券購入補助制度」が４割を超えています。
- 特に「定期券購入補助制度」については、各地域で回答割合が３割を超えます。

表 5-16 公共交通の改善に向けたサービスで関心があるもの

（単位：%）

サービス内容＼居住地	上野地域 (N=21)	いがまち地域 (N=72)	阿山地域 (N=9)	大山田地域 (N=6)	島ヶ原地域 (N=3)	青山地域 (N=7)	名張市 (N=58)	亀山市 (N=28)	伊賀市全体 (N=208)
自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー	14.3	23.6	22.2	33.3	33.3	0.0	25.9	28.6	23.1
タクシーが一定の条件付きで割り引かれるサービス（時間帯限定・市内エリア限定等）	4.8	18.1	11.1	0.0	0.0	14.3	13.8	7.1	12.5
鉄道や路線バスの定期券購入補助制度	33.3	40.3	44.4	83.3	33.3	71.4	46.6	53.6	45.7
公共交通利用で買い物に行くと、店でポイントの付与や割引が受けられる	23.8	30.6	11.1	16.7	0.0	42.9	24.1	17.9	25.0
自家用車に乗せてくれる人にお金を払って相乗りする（地域での助け合い活動など）	0.0	13.9	0.0	16.7	33.3	0.0	10.3	7.1	9.6
会員同士で特定の車を共同使用する	0.0	2.8	0.0	0.0	33.3	0.0	6.9	3.6	3.8
運転手無しの自動運転	23.8	12.5	11.1	0.0	0.0	0.0	13.8	10.7	13.0
複数の公共交通（鉄道・バス・タクシー等）の検索、予約、決済を一括で行えるサービス	19.0	19.4	22.2	16.7	33.3	14.3	22.4	17.9	20.2
安価で移動できる地域主体の交通手段	47.6	47.2	44.4	16.7	33.3	71.4	46.6	46.4	46.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	1.7	0.0	1.0

5-5　外国人の利用実態

(1) 調査概要

伊賀市は、1990 年代から日系南米人労働者が多く来日し、外国人住民の永住化・定住化が進んだことにより、令和７年 10 月末の人口の７%以上を外国人が占めています。

そこで、多様な利用者が快適に利用できる公共交通を目指すため、伊賀市に住む外国人の公共交通の利用実態や、利用における課題などを把握するために、ヒアリング調査を行いました。

表 5-17　外国人住民の公共交通利用に関するヒアリング調査概要

目的	外国人住民の公共交通の利用実態、利用における課題やニーズを把握する。
対象者	伊賀市人権生活環境部多文化共生課
方法	ヒアリングシートを事前に送付した上で、インタビュー形式で回答
実施日	令和７年 10 月８日（水）

(2) 調査結果

- 乗換方法や乗降車の方法、支払い方法等に関して、外国人住民が不安を持っており、多言語での案内が不足していることが課題としてあがっています。
- 乗り換え駅や駅員に尋ねることができない無人駅などでは、特に多言語化のニーズが高いと考えられます。

表 5-18　外国人住民の公共交通利用に関するヒアリング調査の主な内容

外国人の公共交通利用に関する困り事について

【公共交通に関する問い合わせについて】
- 外国人住民からの公共交通に関する問い合わせは月 10 回以内
- 「支払方法」「バス停」「時刻」「乗換の有無」「通学定期券」に関する問い合わせが多い

【主な困り事の内容】
- 日本語がわからない
- 駅での乗継が不安
- バス停名・駅名が覚えられない
- バスの待ち時間が長い
- バスの方向がわからない
- 駅が遠い
- 駅員がいないため尋ねることができない
- 駅のホームに屋根がなく雨風をしのげない
- 電車の前ドアからしか降りられない

外国人の公共交通利用における課題・ニーズ

【言語以外の障壁】
- 支払や乗り換え、乗車ルールに関する事

【外国人住民のニーズ】
- 外国人住民の通勤は、企業による送迎や自転車を支給しており、公共交通に対するニーズは少ない。

外国人の公共交通利用促進について

【関係事業者への要望】

公共交通事業者）　支払方法の多様化
　　乗り換え駅や無人駅での多言語案内表示
観光施設等）　　観光施設案内の多言語化

【利用促進に向け必要な事項】
- 利用のしやすさを重視してほしい。
- 運行本数や利用料金に加えて、多言語対応も重要。

5-6　地域部会の開催

各種アンケートによる意見について、さらに深掘りを行うため６地域それぞれで地域部会を開催しました。議論した結果を踏まえて、伊賀市地域公共交通計画を策定していきます。

（1） 実施概要

表 5-19　地域部会の実施概要

青山地域部会	実施日	令和７年 11 月 18 日（火）午後１時 30 分～午後２時
	開催場所	青山複合施設　会議室
	参加者	矢持住民自治協議会　会長 博要住民自治協議会　会長 高尾住民自治協議会　会長 上津地区住民自治協議会　会長 桐ヶ丘地区住民自治協議会　会長 阿保地区住民自治協議会　会長
島ヶ原地域部会	実施日	令和７年 11 月 19 日（水）午後１時 30 分～午後３時
	開催場所	島ヶ原会館　会議室
	参加者	島ヶ原地域まちづくり協議会　会長 島ヶ原地域まちづくり協議会　副会長 島ヶ原地域まちづくり協議会　特別委員 島ヶ原地域まちづくり協議会　事務局長 島ヶ原地域まちづくり協議会　他５名 島ヶ原リゾート 伊賀市社会福祉協議会
いがまち地域部会	実施日	令和７年 11 月 25 日（火）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分
	開催場所	西柘植地区市民センター　大会議室
	参加者	柘植地域まちづくり協議会　副会長 柘植地域区長代表 西柘植地域まちづくり協議会　会長 西柘植地域区長会　会長 壬生野地域まちづくり協議会　会長 壬生野地域区長会　会長
大山田地域部会	実施日	令和７年 11 月 25 日（火）午後５時 00 分～午後７時 00 分
	開催場所	大山田福祉センター　ふれあい広場
	参加者	阿波地域住民自治協議会　会長 山田地域住民自治協議会　会長 阿波地区区長会　会長 布引地区区長部会　部会長 山田地区区長会　会長 伊賀市大山田地区民生委員児童委員協議会　会長 伊賀市社会福祉協議会地域支援課地域福祉コーディネーター 伊賀市商工会大山田支所　支部長
上野地域部会	実施日	令和７年 11 月 26 日（水）午後７時 00 分～午後８時 30 分
	開催場所	市役所本庁舎４階　庁議室
	参加者	中瀬地域住民自治協議会　会長 古山地区住民自治協議会　会長 比自岐地区住民自治協議会　会長 三田地区住民自治協議会　会長 上野西部地区住民自治協議会　会長 社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 地域支援課　課長 伊賀市民生委員児童委員協議会　上野西部地区　会長
阿山地域部会	実施日	令和７年 11 月 28 日（金）午後６時 00 分～午後８時 00 分
	開催場所	阿山支所　会議室１・２
	参加者	河合地域住民自治協議会　会長 鞆田自治協議会　会長 玉滝地域まちづくり協議会　会長 丸柱地域まちづくり協議会　会長 伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会　会長 伊賀市社会福祉協議会地域支援課地域福祉コーディネーター 伊賀市商工会阿山支部　支部長

(2) 論点の整理

表 5-20　各地域部会の論点

青山地域部会	▪ 公共交通計画の現状と課題の洗い出し ▪ 運行主体・財源のあり方と地域負担の限界 ▪ 利用者負担と無料化の是非 ▪ アンケート調査の妥当性と実態把握の課題 ▪ 今後の検討体制と地域意見の反映
島ヶ原地域部会	▪ アンケート調査の実施方法と回答者層 ▪ 通学定期助成の周知と申請状況 ▪ 公共交通計画策定におけるアンケート結果の活用と課題 ▪ 免許返納意向と地域交通の現状 ▪ 地域主体の交通運営と今後の方向性
いがまち地域部会	▪ 公共交通へのアクセスと交通弱者への配慮 ▪ ドアツードアのニーズと新しい交通手段の検討 ▪ バスダイヤ・運行方法の見直し ▪ 地域主体の助け合い交通サービスとライドシェアの課題 ▪ 地域の声の反映と交通弱者の意見収集
大山田地域部会	▪ 広域・過疎地域における交通の課題とバス運行の限界 ▪ 共助型ライドシェア・地域主体運行の可能性と課題 ▪ 公共交通計画の方向性と持続可能性 ▪ 高校生・高齢者の移動手段確保と地域ニーズの多様化 ▪ バスダイヤ・ルート・車両数の見直しと利用促進策
上野地域部会	▪ 公共交通の利用実態と自家用車依存 ▪ 公共交通の利便性・接続性の課題 ▪ 交通弱者（高齢者・学生等）の移動手段確保 ▪ 地域主体の交通サービス・人材確保の課題 ▪ 観光・外部来訪者向け公共交通の充実と利用促進
阿山地域部会	▪ アンケート調査の妥当性と地域実態の反映 ▪ 公共交通の利便性・交通空白地の課題 ▪ 高齢者・交通弱者の移動手段確保とドアツードア型交通の必要性 ▪ 地域主体の交通運営と人材・組織体制の課題 ▪ 今後の組織づくり・プロジェクトチームの設置と計画推進